



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月25日

上場会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート

上場取引所 東

コード番号 3850 URL <http://www.intra-mart.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山義人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 鈴木誠

TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日 2023年10月31日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,701	5.3	28	93.0	49	88.0	21	92.5
2023年3月期第2四半期	3,907	13.2	412	6.7	411	7.2	281	8.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 19百万円 (92.9%) 2023年3月期第2四半期 278百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	4.36	
2023年3月期第2四半期	58.06	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	7,704	4,592	59.6	946.04
2023年3月期	7,477	4,725	63.2	975.42

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,592百万円 2023年3月期 4,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		35.00	35.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,804	23.1	250	69.2	250	67.3	175	56.2	36.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	4,955,000 株	2023年3月期	4,955,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	100,439 株	2023年3月期	110,331 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	4,848,939 株	2023年3月期2Q	4,844,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、個人消費マインドの改善やインバウンド需要の回復等により、景気は緩やかな回復傾向が見られたものの、世界的なエネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する情報サービス産業におきましては、生産性向上や業務効率化、新しい働き方を目的としたDX化に引き続き高い関心と期待が寄せられております。また、企業の競争力強化に向け、ビッグデータ、AI、IoTの活用にも積極的な姿勢が感じられます。

このような情勢のもと、当社グループは「①ローコード開発ツールの充実とシェア拡大」「②業務アプリケーションのターゲット市場を拡大」「③クラウド・サブスクリプションへの転換」「④ビジネス変革全般のサポート強化」を重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には「①ローコード開発ツールの充実とシェア拡大」「③クラウド・サブスクリプションへの転換」として、クラウド型ローコード開発サービス「Accel-Mart Quick」を利用する企業がシステム開発を内製化できるよう伴走しながら定着・活用を図る新メニュー「カスタマーサクセス支援サービス」の提供を開始いたしました。カスタマーサクセスやサンプル提供だけではなく、初回ヒアリングやQ&A対応、運用開始後の定期打ち合わせも完備し、個社ごとに最適な施策を実施することができ、早期プロジェクトの立ち上げと自走を実現します。また、これまで製品強化とサービス向上を積み重ねた結果、当社製品が株式会社富士キメラ総研『ソフトウェアビジネス新市場2023年版』の「ワークフロー市場」分野において、16年連続第1位を獲得しました。

「②業務アプリケーションのターゲット市場を拡大」としては、2023年9月22日付でAIやIoT等を活用した高度な開発技術力と業務ノウハウを保有する株式会社ジェイエスピー（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：稲田 彰典以下、ジェイエスピー社）の全株式を取得する契約を締結しました。ジェイエスピー社は次四半期より当社完全子会社となります。かねてから資本業務提携の関係にある、ジェイエスピー社の高度な開発技術力とイントラマート社の業務改善コンサル力を掛け合わせ、今後マーケットの拡大が期待される、DTO (Digital Twin Organization) プラットフォームの構築ノウハウを蓄積することで、デジタルツイン市場の開拓と機会創出を狙います。

「④ビジネス変革全般のサポート強化」につきましては、当社が運営するユーザー会「intra-mart User Group」の会員企業数が160社を超え、IT技術者の育成及びICTに関する情報共有/情報発信等を通じ、顧客リレーションを強化してまいりました。

この結果、売上高3,701,669千円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益28,904千円（前年同四半期比93.0%減）、経常利益49,462千円（前年同四半期比88.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21,162千円（前年同四半期比92.5%減）となりました。

なお、上記結果については、中期経営計画（FY2022-2025）における取り組みのサブスクリプションモデルへの転換による影響であり、概ね当初の想定どおりであります。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① ソフトウェア事業

ソフトウェア事業におきましては、従来の売切り型ライセンス販売からサブスクリプション型ライセンスやクラウド型サービスへのシフトが進んだ影響により、売上高は減少したものの全般堅調に推移しました。

この結果、売上高は2,259,588千円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

② サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、受注状況が持ち直しつつあります。

この結果、売上高は1,442,080千円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産は、無形固定資産が増加したことにより、7,704,729千円となり、前連結会計年度末に比べ227,162千円、3.0%増加となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、契約負債が増加したことにより、3,112,125千円となり、前連結会計年度末に比べ360,158千円、13.1%増加となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当により、4,592,604千円となり、前連結会計年度末に比べ132,996千円、2.8%減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2023年9月22日の『株式会社ジェイエスピーの株式の取得（完全子会社化）及び業績予想の修正に関するお知らせ』で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,314,700	3,054,010
売掛金	1,086,747	647,383
契約資産	121,738	351,269
その他	222,062	366,601
流動資産合計	4,745,248	4,419,266
固定資産		
有形固定資産		
建物	254,617	283,571
減価償却累計額	△118,504	△72,878
建物(純額)	136,113	210,692
工具、器具及び備品	138,444	145,006
減価償却累計額	△98,522	△91,273
工具、器具及び備品(純額)	39,922	53,732
有形固定資産合計	176,035	264,425
無形固定資産		
ソフトウェア	1,060,527	1,688,972
ソフトウェア仮勘定	754,806	470,443
その他	72	72
無形固定資産合計	1,815,406	2,159,488
投資その他の資産		
投資有価証券	167,744	176,496
敷金及び保証金	211,325	321,995
繰延税金資産	361,768	352,619
その他	39	10,438
投資その他の資産合計	740,877	861,549
固定資産合計	2,732,318	3,285,463
資産合計	7,477,567	7,704,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	422,123	318,007
未払金	189,019	142,996
未払法人税等	66,502	33,434
契約負債	1,188,654	1,681,415
賞与引当金	142,612	171,520
完成工事補償引当金	50,150	-
資産除去債務	57,068	-
その他	49,787	84,043
流動負債合計	2,165,917	2,431,417
固定負債		
退職給付に係る負債	548,519	592,666
資産除去債務	37,529	88,041
固定負債合計	586,049	680,707
負債合計	2,751,967	3,112,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	668,756	668,756
利益剰余金	3,686,001	3,518,690
自己株式	△398,698	△362,887
株主資本合計	4,694,815	4,563,316
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	30,785	29,288
その他の包括利益累計額合計	30,785	29,288
純資産合計	4,725,600	4,592,604
負債純資産合計	7,477,567	7,704,729

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,907,772	3,701,669
売上原価	2,194,572	2,116,158
売上総利益	1,713,200	1,585,510
販売費及び一般管理費	1,300,965	1,556,605
営業利益	412,235	28,904
営業外収益		
受取利息	14	5
受取配当金	6,048	8,704
持分法による投資利益	-	10,252
為替差益	6,744	2,640
その他	95	173
営業外収益合計	12,902	21,775
営業外費用		
持分法による投資損失	9,157	-
固定資産除却損	4,196	1,217
営業外費用合計	13,353	1,217
経常利益	411,783	49,462
税金等調整前四半期純利益	411,783	49,462
法人税等	130,481	28,299
四半期純利益	281,302	21,162
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	281,302	21,162
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,352	△1,496
その他の包括利益合計	△2,352	△1,496
四半期包括利益	278,949	19,666
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,949	19,666

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,351,388	1,556,384	3,907,772
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,811	1,120	4,931
計	2,355,199	1,557,504	3,912,703
セグメント利益	601,466	289,747	891,214

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	891,214
セグメント間取引消去	△678
全社費用(注)	△478,300
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	412,235

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,259,588	1,442,080	3,701,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,368	1,120	4,488
計	2,262,956	1,443,200	3,706,157
セグメント利益	418,978	256,118	675,097

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(事業譲受による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社プロレド・パートナーズからプロサインBSM事業を譲り受けることとなり、これにより、前連結会計年度末に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、ソフトウェア事業において205,333千円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	675,097
セグメント間取引消去	△1,744
全社費用（注）	△644,448
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	28,904

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。